

落合区のみなさまへ

燃えるごみの分別状況の調査結果について

豊明市役所環境課

2月22日（金）に、落合区の役員のみなさまのご協力のもと、トヨタケユニティ㈱において、落合区の「燃えるごみ」の分別状況の調査を実施しました。

結果は裏面のとおりです。今回の調査において「燃えるごみ」に該当しないものが全体の約23%で、その中で雑誌・雑紙、プラスチック製容器包装、紙製容器包装の3品目の割合が特に高いことが分かりました。これらの品目は全て資源化できるものになりますので、「ごみと資源の分け方・出し方」のパンフレットを参考にしながら、ルールに従って正しく分別して出すようにしてください。

また、生ごみの割合は全体の約3割を占めており、その中には食べ残されたり、使い切れなくなったと思われる食材だけでなく、未開封の食料品も数多く含まれておりました。こういった「食品ロス」を減らすための工夫をすることや、生ごみはしっかりと水切りしてから出すことによって、「燃えるごみ」は飛躍的な減量につながっていきます。

本市では、家庭系ごみ減量化実施計画において、2019年度から4年間で家庭から出る「燃えるごみ」の量を20%削減するという目標を掲げました。よって、みなさまには①資源になる品目は分別すること ②食品ロスを減らし、生ごみは水切りすること 上記の2点について徹底していただき、目標の達成に向けてご協力をお願いいたします。

以下の品目は「燃えるごみ」に出さないで、正しく分別して出してください！



雑誌・雑紙



プラスチック製容器包装



紙製容器包装

(参考) 豊明市におけるごみ減量化目標

| 年度 | 1人1日当たりの 家庭系ごみの量 (g) | 可燃ごみの減量率※ | 豊明市家庭系ごみ減量 化実施計画より抜粋 |
|--------------------|-------------------------|-----------|------------------------------|
| 平成29年度 | 503 | — | |
| 平成31年度 (2019年度) | 479 | 5% | ※ごみ全体の量から、可燃 ごみの量のみ削減して算出 |
| 平成32年度 (2020年度) | 456 | 10% | 中間目標 |
| 平成33年度 (2021年度) | 433 | 15% | |
| 平成34年度 (2022年度) | 410 | 20% | 最終目標 |

平成30年度可燃ごみ組成調査結果

調査日:平成31年2月22日(金) 調査地区:落合区

| 分別種類 | 分別品目 | 重量 (kg) | 重量比率 (%) |
|------|------------------|------------|-----------------|
| 可燃ごみ | 可燃ごみ(生ごみ・紙おむつ以外) | 43.0 | 39.9 |
| | 手をつけている生ごみ | 29.9 | 27.7 |
| | 手をつけていない生ごみ | 1.9 | 1.8 |
| 資源 | 紙おむつ | 7.4 | 6.9 |
| | 雑誌・雑紙 | 7.1 | 6.6 |
| | プラスチック製容器包装 | 5.9 | 5.5 |
| | 紙製容器包装 | 4.1 | 3.8 |
| | 新聞 | 2.7 | 2.5 |
| | 衣類・布類 | 1.7 | 1.6 |
| | ダンボール | 1.4 | 1.3 |
| | ペットボトル | 1.2 | 1.1 |
| | 牛乳パック | 0.8 | 0.7 |
| | ビン | 0.3 | 0.3 |
| | アルミ | | 缶詰:2缶 |
| | スチール | | 缶詰:2缶、飲料缶のふた:3つ |
| | スプレー缶・カセットボンベ | | スプレー缶:1本 |
| | 乾電池 | | 単3電池:6本 |
| 不燃ごみ | 不燃ごみ | 0.4 | 0.4 |
| 合計 | | 107.8 | 100.0 |

